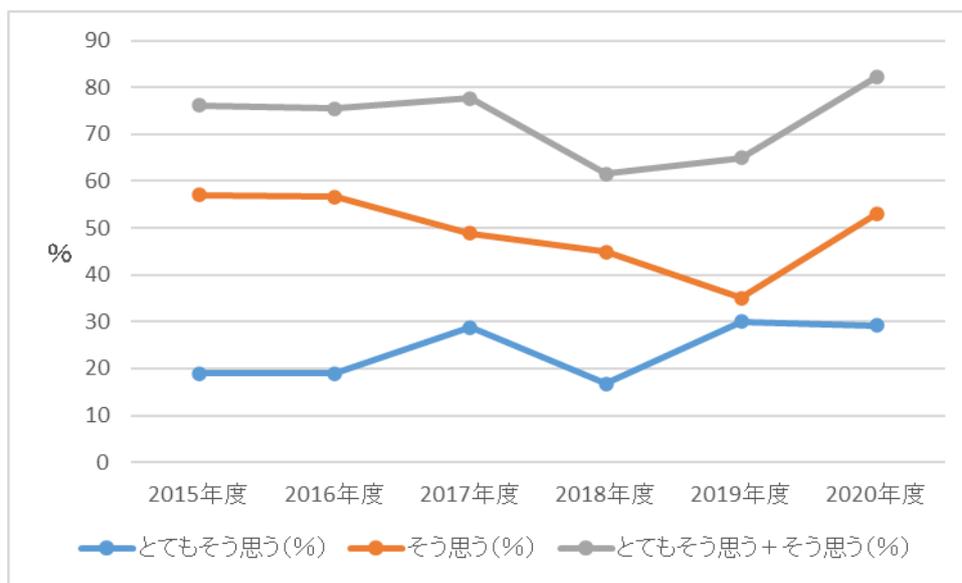


経年比較 (2015年度～2020年度)

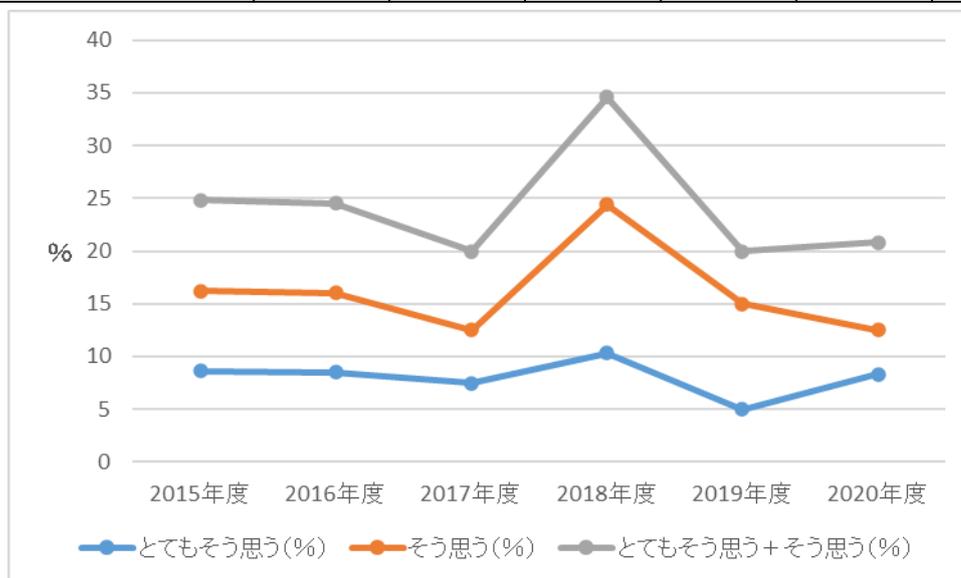
卒業生回答数：2015年度 106名，2016年度 106名，2017年度 80名，2018年度 80名，2020年度 96名  
愛知みずほ大学に入学して良かったと思いますか。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
とてもそう思う (%)	19	18.9	28.8	16.7	30	29.17
そう思う (%)	57.1	56.6	48.8	44.9	35	53.125
とてもそう思う+そう思う (%)	76.1	75.5	77.6	61.5	65	82.3
回答者数	106	106	80	80	20	96



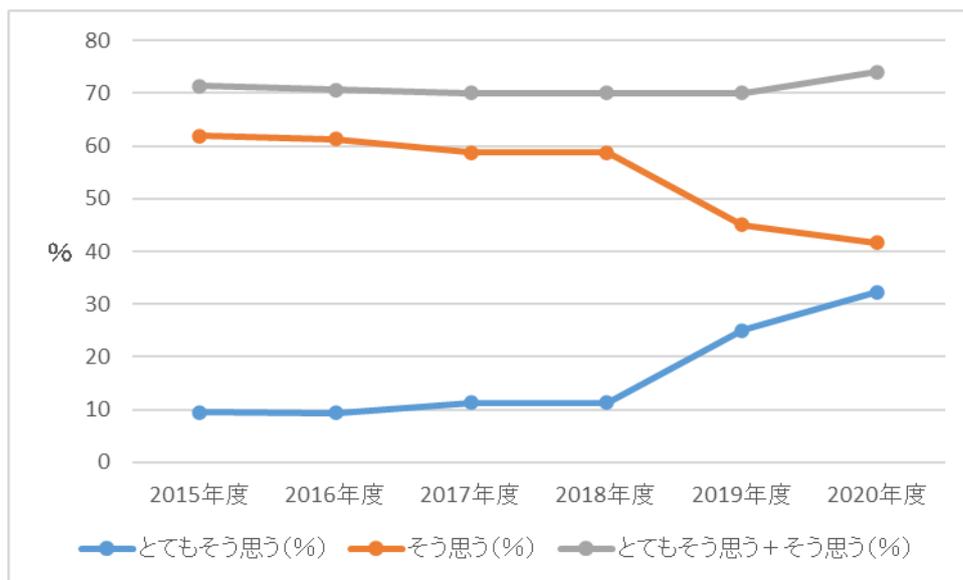
大学を辞めたいと強く思ったことはありますか。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
とてもそう思う (%)	8.6	8.5	7.5	10.3	5	8.3
そう思う (%)	16.2	16	12.5	24.4	15	12.5
とてもそう思う+そう思う (%)	24.8	24.5	20	34.6	20	20.8
回答者数	106	106	80	80	20	96



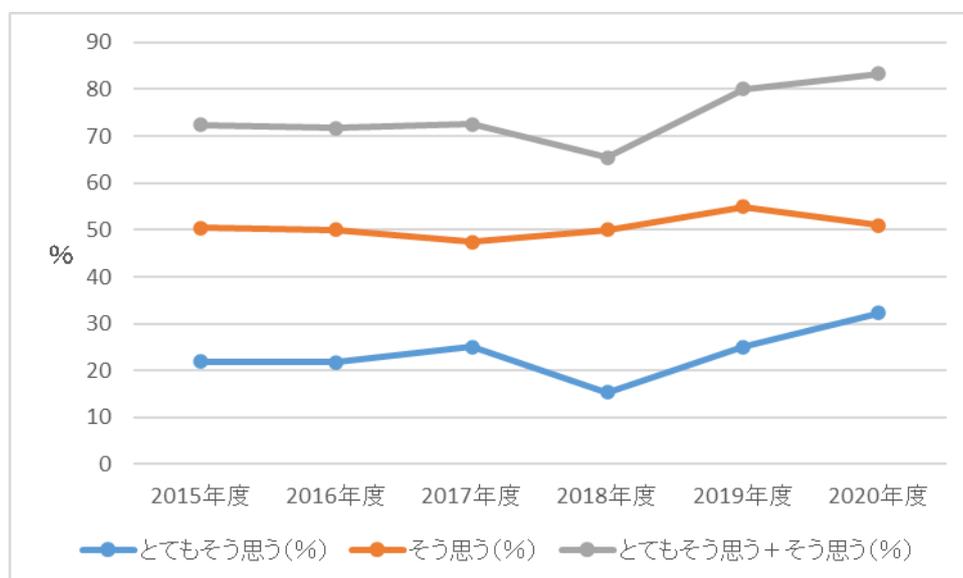
教員は学修支援のためのコメントをしてくれましたか。

	2015年 度	2016年 度	2017年 度	2018年 度	2019年 度	2020年 度
とてもそう思う (%)	9.5	9.4	11.3	11.3	25	32.3
そう思う (%)	61.9	61.3	58.8	58.8	45	41.7
とてもそう思う+そう思う (%)	71.4	70.7	70	70	70	74
回答者数	106	106	80	80	20	96



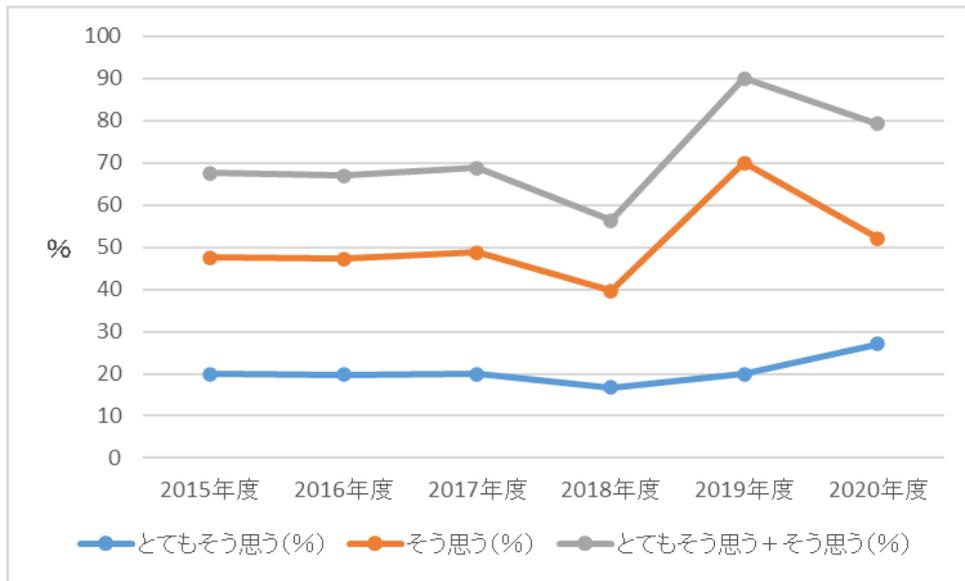
学修した専門分野に関する知識が身についたと思いますか。

	2015年 度	2016年 度	2017年 度	2018年 度	2019年 度	2020年 度
とてもそう思う (%)	21.9	21.7	25	15.4	25	32.3
そう思う (%)	50.5	50	47.5	50	55	51
とてもそう思う+そう思う (%)	72.4	71.7	72.5	65.4	80	83.3
回答者数	106	106	80	80	20	96



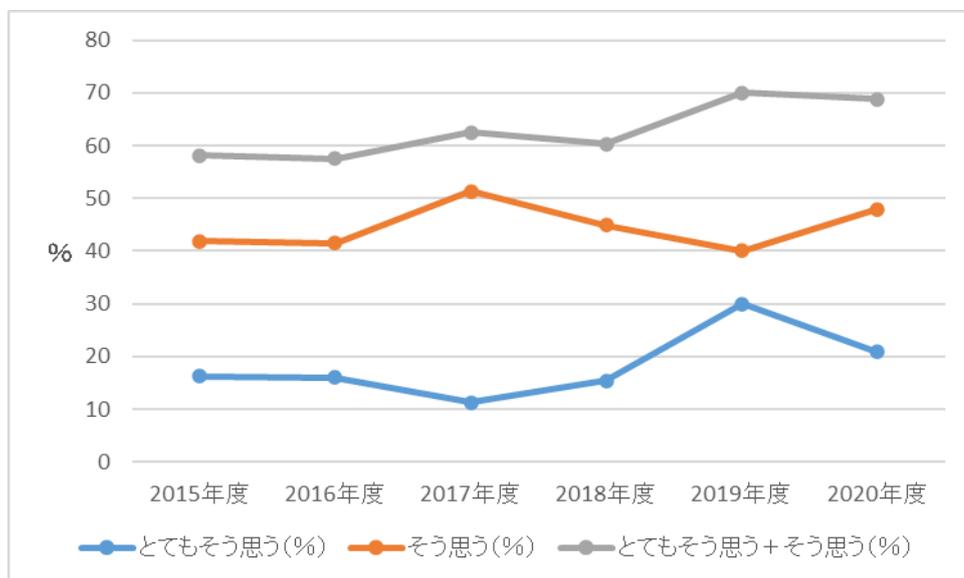
グループで協調することのできる能力は向上したと思いますか。

	2015年 度	2016年 度	2017年 度	2018年 度	2019年 度	2020年 度
とてもそう思う (%)	20	19.8	20	16.7	20	27.1
そう思う (%)	47.6	47.2	48.8	39.7	70	52.1
とてもそう思う+そう思う (%)	67.6	67	68.8	56.4	90	79.2
回答者数	106	106	80	80	20	96



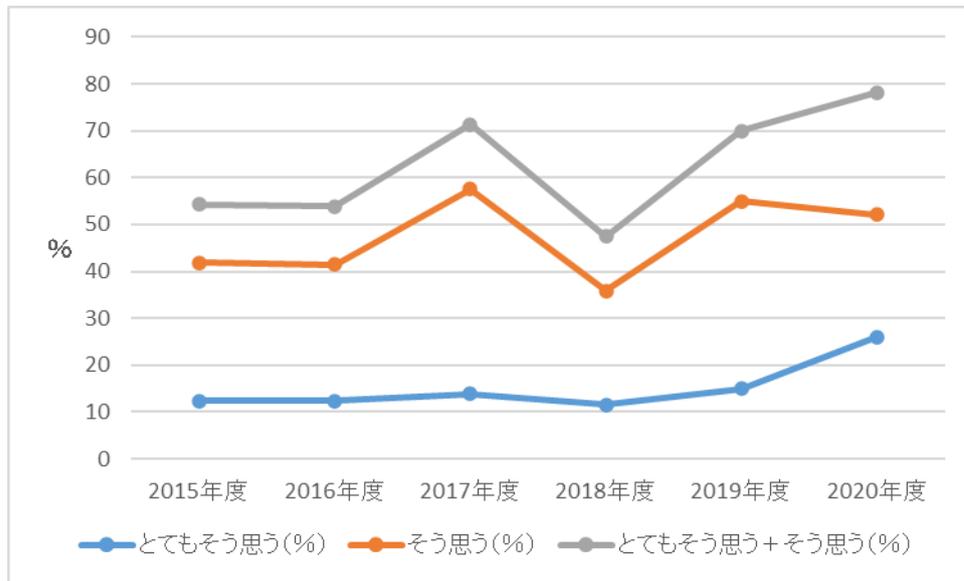
自主的に学修するという姿勢が向上したと思いますか。

	2015年 度	2016年 度	2017年 度	2018年 度	2019年 度	2020年 度
とてもそう思う (%)	16.2	16	11.3	15.4	30	20.8
そう思う (%)	41.9	41.5	51.3	44.9	40	47.9
とてもそう思う+そう思う (%)	58.1	57.5	62.5	60.3	70	68.8
回答者数	106	106	80	80	20	96



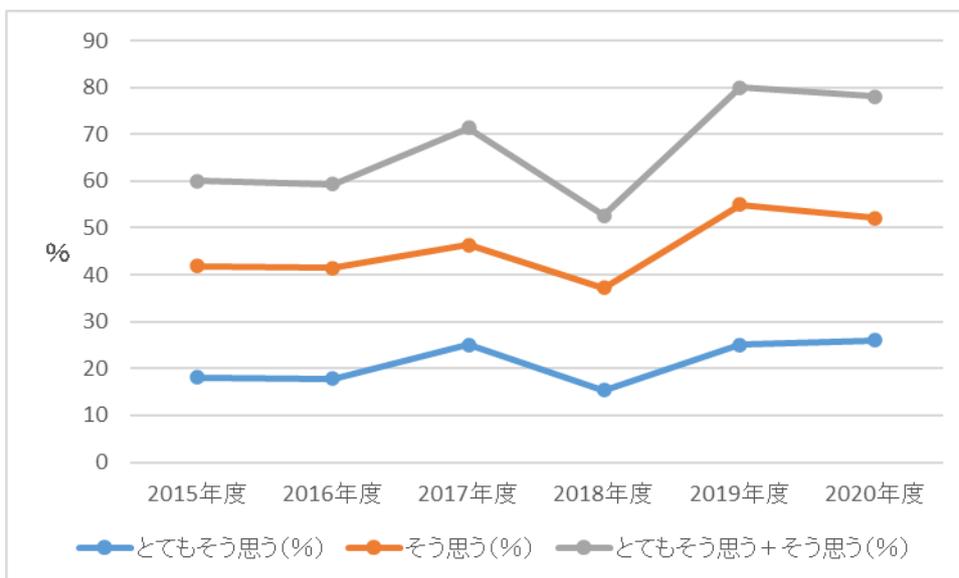
コミュニケーション能力（書く力）は向上したと思いますか。

	2015年 度	2016年 度	2017年 度	2018年 度	2019年 度	2020年 度
とてもそう思う（％）	12.4	12.3	13.8	11.5	15	26
そう思う（％）	41.9	41.5	57.5	35.9	55	52.1
とてもそう思う+そう思う（％）	54.3	53.8	71.3	47.4	70	78.1
回答者数	106	106	80	80	20	96



コミュニケーション能力（話す力）は向上したと思いますか。

	2015年 度	2016年 度	2017年 度	2018年 度	2019年 度	2020年 度
とてもそう思う（％）	18.1	17.9	25	15.4	25	26
そう思う（％）	41.9	41.5	46.3	37.2	55	52.1
とてもそう思う+そう思う（％）	60	59.4	71.3	52.6	80	78.1
回答者数	106	106	80	80	20	96



愛知みずほ大学に入学して良かったと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	0	3	29	14	46
健スポ	0	2	6	15	7	30
心理	0	0	4	6	4	14
人間	0	0	2	1	3	6
合計	0	2	15	51	28	

愛知みずほ大学の少人数教育は良かったと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	0	4	25	17	46
健スポ	0	2	5	12	11	30
心理	0	1	5	7	1	14
人間	0	0	1	1	4	6
合計	0	3	15	45	33	

学修した専門分野に関する知識が身についたと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	0	4	19	23	46
健スポ	0	1	7	16	6	30
心理	0	1	1	11	1	14
人間	0	0	2	3	1	6
合計	0	2	14	49	31	

自主的に学修するという姿勢が向上したと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	1	8	25	12	46
健スポ	0	6	7	10	7	30
心理	0	2	4	7	1	14
人間	1	0	1	4	0	6
合計	1	9	20	46	20	

チューターは学生生活全般について関心を示してくれたと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	0	10	19	17	46
健スポ	0	2	7	11	10	30
心理	0	1	1	9	3	14
人間	0	0	1	3	2	6
合計	0	3	19	42	32	

授業以外の課外活動(クラブ活動、学生会活動など)は充実していたと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	6	23	16	1	46
健スポ	2	6	4	13	5	30
心理	1	3	5	4	1	14
人間	0	1	2	2	1	6
合計	3	16	34	35	8	

進路・就職支援の体制は充実していたと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	1	5	29	11	46
健スポ	0	1	9	11	9	30
心理	1	2	4	4	3	14
人間	0	0	2	2	2	6
合計	1	4	20	46	25	

大学を辞めたいと強く思ったことはありますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	17	8	11	5	5	46
健スポ	8	9	6	4	3	30
心理	4	3	4	3	0	14
人間	1	3	2	0	0	6
合計	30	23	23	12	8	

教員は学修支援のためのコメントをしてくれたと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	1	0	8	21	16	46
健スポ	0	1	11	8	10	30
心理	0	0	3	7	4	14
人間	0	0	1	4	1	6
合計	1	1	23	40	31	

グループで協調することのできる能力は向上したと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	0	3	30	13	46
健スポ	1	3	6	11	9	30
心理	1	1	3	7	2	14
人間	0	0	2	2	2	6
合計	2	4	14	50	26	

コミュニケーション能力(書く力や話す力)は向上したと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	1	4	27	14	46
健スポ	1	3	6	12	8	30
心理	0	1	3	8	2	14
人間	0	0	2	3	1	6
合計	1	5	15	50	25	

学生の健康管理に十分配慮されていたと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	2	0	5	25	14	46
健スポ	0	2	7	12	9	30
心理	0	2	2	7	3	14
人間	0	0	2	3	1	6
合計	2	4	16	47	27	

施設・設備(教室、実習室、運動施設など)に関する学修環境は良かったと思いますか。

コース	1	2	3	4	5	合計
養護	0	3	7	24	12	46
健スポ	1	0	10	14	5	30
心理	2	0	5	6	1	14
人間	0	1	2	2	1	6
合計	3	4	24	46	19	

5 : とてもそう思う

4 : そう思う

3 : どちらともいえない

2 : そう思わない

1 : 全くそう思わない

## 令和2年度卒業生満足度調査結果のまとめ

### 1. 経年変化（2015年度～2020年度）

2018年度に大学の入学満足度および学修成果は低下し、退学意思は高い値となったが、2020年度には2018年度以前の傾向に回復していた。

### 2. コース間の比較

コース間において入学満足度と退学意思は、わずかな違いはみられたが、分散分析による有意差は認められなかった（ $p=0.236$ ,  $p=0.952$ ）。

### 3. 入学満足度に関わる要因

個別の質問項目を独立変数とし、入学満足度を従属変数として重回帰分析を行った結果、入学満足度が高まる要因として、「少人数教育」（ $p=0.002$ ）、「専門分野の知識修得」（ $p=0.029$ ）が関係することが認められた。

### 4. 退学意思に関わる要因

個別の質問項目を独立変数とし、退学意思を従属変数として重回帰分析を行った結果、退学意思が低くなる要因として、「健康管理配慮」（ $p=0.035$ ）が関係することが認められた。

### 5. 自由記述の分析（テキストマイニング分析）

#### テキスト要約

不満に思う部分は特にありません。

教授対策がしっかりできてよかったです。

チューターが変わってしまったのが悲しかった。

4年間充実した学生生活を送れました。

満足しているのはキャリアの就職の支援。

人間関係が濃くなれたのはよかったです。

学生同士もコースに関わらず仲良くなれた。

教授たちの支援や配慮が良かった。

全体的に満足しています。

ちゃんとしたスポーツ大会がしたかった。

※テキストマイニングだけでは見いだせない部分があるが、感謝を述べる言葉、出会いを喜ぶ言葉、資格が取れたことを喜び、少人数教育で先生と親しく慣れたことを評価することがよい点であった。

※一方、不満点の多くは、学食がない点、リモート教育にかかわること、駅からの距離など挙げられていた。コースによって、文書量が違うため、コース間の比較はできなかった。